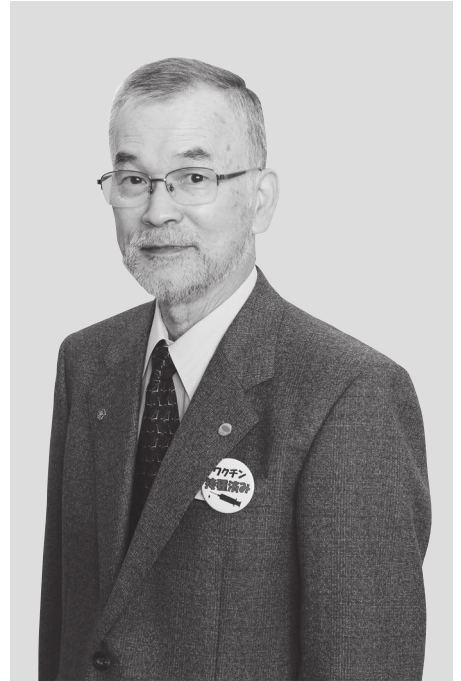




令和4年年頭のご挨拶



湖南市長 生田 邦夫

あけましておめでとうございませす。皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は、市政にひとかたならぬご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の流行期における緊急事態宣言下で、社会活動、外出等制限がされ、市民の皆様、企業の皆様全てがコロナに立ち向かう日々を余儀なくされました。市では、命を守り、日常生活を取り戻すために、ワクチンをできるだけ早期に接種していただけるよう奔走した1年でした。このような中ではありましたが、子どもの医療費の無償化を開始したことが、子育て世帯の皆様の一助となっていれば本当に幸いです。

市長に就任し2年目となります。本年は、ウイズコロナ時代の行政

や地域の在り方を考えながら、これまで以上に子育て施策の強化や安全安心のまちづくり、インフラ整備、さらに行政手続きのデジタル化や脱炭素に向けた積極的な取組など着実に進めてまいります。さしあたりましては、皆様への3回目のワクチン接種の準備を行っておりますので、混乱のないよう接種を進めてまいります。

しかし、少子高齢化時代に加えコロナ禍により不安定な情勢が続いており、このまちに安心して住み続けていただくためには、行政と地域が手を取り合って地域の課題を解決していく時代が来ているのではないかと感じております。市民の皆様への明るい未来に向かい、着実に進んで行ける2022年となりますよう、皆様のご協力をいただきながら邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

新年あけましておめでとうございませす。

新しい年を迎えるにあたり、議会を代表し謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

湖南市のみなさまにおかれましては、すがすがしい新年を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は湖南市議会に対し、さまざまな場面でご指導、ご協力を賜っておりますこと、こころより御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの影響下で暮らす毎日となつてはや2年となります。みなさまの生活は勿論のこと、あらゆる分野においてもその影響が懸念されております。市の財政状況も例外ではなく、二元代表制の一翼を担う議会といたしましても議員それぞれが力を合わせ、議会機能を十分に発揮することに、現状を打破していかねば

なりません。

この挨拶の入稿依頼時に、新規変異種「オミクロン株」が検出されました。オミクロン株の詳細は分かっておりますが、デルタ株との置き換えが進んでいる地域もあり、WHOは感染拡大への警鐘を唱えたところです。政府は入国制限など水際対策の強化を早々に実施したことは評価できますが、日本への流入は時間の問題であると考えられます。新型コロナウイルスの感染拡大は昨年の8月を頂点に驚異的な低下が続く、長期のストレス社会からの脱却にみなさまも喜びを感じられたことと思います。この平穩は、医療従事者をはじめ、すべてのみなさまの努力で創り上げたものだと思っております。基本的な感染対策を胸に、こころ安らかな一年をぜひ守り抜いて参りましょう。



湖南市議会議員 菅沼 利紀